

## 第54期中央労働講座参加報告

先日は、第54期中央労働講座に参加させていただき有難う御座いました。中央執行委員長、副執行委員長の方々の講義を聞いて改めて、自分の勉強不足・知識不足を痛感しました。若い組合員に「港湾運送事業法とは？港湾労働法とは？」等の質問をされた時に相手にわかりやすく説明できる自信がありませんでしたが、今回の資料を基に勉強をして少しでもわかりやすく説明出来る様にしていけたらと思います。

グループ討論や懇親会の時、他支部の人達と交流し他港の現状などを聞くことができました。その中でもメンタルヘルス障害から長期休業を余儀なくされ、その後復帰するまでの組合員の話は印象に強く残りました。今後、自分の身近でその様な組合員が出ないとは限りません。その時は今回聞いた話を参考にして対応していけたらと思います。しかし、そうなる前に常日頃から積極的にコミュニケーションをとり何かしらの変化等に気づいてあげられるようになりたいと思います。

今回、どの支部の方々も口を揃えて話していた問題点が新入社員及び新規の組合員が加入していないことでした。どの企業も人手不足と言われる中で、今の若い人たちに港で働きたいと思わせるにはどうすればいいかと、非常に難しい問題ではありますが、全港湾の各地方また、各支部で色々な意見や知恵を出し少しでも魅力的な港湾、職場環境を築いていけるようにしたいと思います。

最後にお忙しい中、第54期中央労働講座を開催して頂き誠にありがとうございました。大変勉強になりました。

東海地方清水支部 中村 元彦